

○四日市港管理組合管理者（知事）コメント

本日、国土交通省より四日市港霞ヶ浦地区国際物流ターミナル整備事業が、令和3年度予算に向けた新規事業採択時評価手続きに着手されるとの公表がなされ、四日市市とともに地元として、大変喜ばしく思っております。

令和元年9月に設立された「四日市港霞ヶ浦地区北埠頭の整備を進める会」の皆さんと一丸となって、北埠頭81号耐震強化岸壁の新規事業化を求める地域の声や、熱い思いを何度も何度も国に伝えたことが、今回の朗報につながったと思います。

県選出をはじめとする国会議員や国土交通省など関係者の方々、「進める会」で、熱心に活動していただいている四日市商工会議所や四日市港利用促進協議会をはじめとした会員企業の方々など、関わったすべての皆様に感謝申し上げます。

北埠頭81号耐震強化岸壁の事業が実現されると、北埠頭へコンテナターミナルを集約し、コンテナ物流機能の高度化・効率化、船舶の大型化に対応できるとともに、南埠頭では、完成自動車やエネルギー関連貨物の取扱機能の拡大など、霞ヶ浦地区の物流機能の強化に向けて、大きな一歩を踏み出すこととなります。

また、今年は、東日本大震災、紀伊半島大水害から10年目の節目の年になります。南海トラフ巨大地震が切迫しているなか、四日市港で初めてのコンテナ輸送用の耐震強化岸壁となり、大規模災害時の港湾物流機能が確保され、災害対応力の強化に大きく寄与するものと確信しています。

今後、3月中に開催される予定の国土交通省交通政策審議会や政府予算案の国会審議を経て、北埠頭81号耐震強化岸壁が新規事業化されるのを心待ちにするとともに、霞ヶ浦地区の国際物流ターミナルの早期実現に向け、引き続き全力で取り組んでまいります。

令和3年2月26日 四日市港管理組合管理者 三重県知事 鈴木 英敬